

まきのほら 教育委員会だより

牧之原市教育委員会表彰 表彰式を開催

3 月 12 日(土)相良総合センターにおいて、牧之原市教育委員会表彰 表彰式が開催されました。牧之原市教育委員会では、学術やスポーツ等で功績のあったみなさんを「牧之原市少年少女ノーベル賞」、「牧之原市教育委員会表彰」として表彰しています。受賞者は次のとおりです。

※「牧之原市少年少女ノーベル賞」は 20 歳以下で、全国で優秀な成績を収めた方々を表彰しています。

※「牧之原市教育委員会表彰」は県大会等で優秀な成績を収めた方々を表彰しています。

【少年少女ノーベル賞】4個人

- 加藤 陸 (勝間田小 6 年) 第 2 回全日本ユース室内アーチェリー選手権大会 小学生男子の部 準優勝
- 加藤大河 (榛原中 3 年) 第 58 回統計グラフ全国コンクール パソコン統計グラフの部 入選
- 鈴木美波 (榛原高校 1 年) 第 54 回全国学芸科学コンクール 読書感想文部門 高校生の部 入選
- 大石麻紀子 (榛原高校 2 年) 第 65 回国民体育大会アーチェリー競技 団体戦 第 3 位

【少年少女ノーベル賞】4団体

- 相良小学校健康委員会 第 2 回健やか親子 21 国民運動 -8020 の里賞 審査員特別賞
- 相良高校簿記部 第 6 回全国高等学校簿記競技大会 団体 総合部門 優勝
- 榛原高校家庭部 東京国際キルトフェスティバル 2011 日本キルト大賞 グループ部門 第 1 位
- まきのほら水辺の楽校 水・土壌環境保全活動功労者表彰

【教育委員会表彰】19個人

- 小柳津桂奈 (相良小 1 年) JA 共済静岡県小・中学生書道コンクール 半紙の部 金賞
- 小杉果穂 (相良小 2 年) JA 共済静岡県小・中学生書道コンクール 半紙の部 金賞
- 酒井 優 (相良小 2 年) JA 共済静岡県小・中学生書道コンクール 条幅の部 金賞
- 加藤優奈 (相良小 3 年) JA 共済全国小・中学生書道コンクール 条幅の部 銀賞
- 茂木美月 (相良小 4 年) 第 60 回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 富永千春 (相良小 6 年) 第 60 回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 原口晴紀 (地頭方小 5 年) 第 26 回全国小学生陸上競技交流大会県選考会 5 年男子 100m 第 1 位
- 石津義也 (地頭方小 6 年) 第 60 回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 鈴木美空 (地頭方小 6 年) 第 60 回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 櫻井俊介 (勝間田小 1 年) 第 60 回静岡県席書コンクール 最優秀賞
- 村松 琳 (勝間田小 6 年) 第 53 回静岡県空手道大会 小学 6 年生男子 組手の部 優勝
- 田村壮嗣 (坂部小 1 年) 第 32 回ジュニア県展 デザインの部 金賞

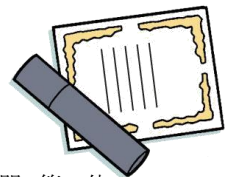


【表彰状を授与される受賞者(相良総合センター いへら)】

- 澤田麻由香 (相良中 1 年) JA 共済静岡県小・中学生書道コンクール 条幅の部 金賞
- 鈴木寛武 (榛原中 1 年) 第 57 回鈴木賞 正賞
- 北 健介 (榛原中 2 年) 第 57 回鈴木賞 正賞
- 梶山日向子 (藤枝順心高校 1 年) 第 65 回関東合唱コンクール 金賞
- 中山華穂 (藤枝順心高校 2 年) 第 65 回関東合唱コンクール 金賞
- 高塚日向子 (静岡商業高校 2 年) 第 58 回静岡県高等学校総合体育大会 バasketボール競技 女子 優勝
- 市橋孝男 (坂部) 第 23 回全国健康福祉祭いしかわ大会 グラウンド・ゴルフ交流大会 第 5 位

【教育委員会表彰】8団体

- 萩間小学校児童会(美化委員会) 地球温暖化防止活動表彰 知事褒章
- 勝間田小学校 3 年生 体力アップコンテストしずおか チャレンジ部門 第 1 位
- 相良高校ヨット部男子 第 58 回静岡県高等学校総合体育大会 ヨット競技 男子 FJ 級デュエットの部 第 1 位
- 相良高校ヨット部女子 第 58 回静岡県高等学校総合体育大会 ヨット競技 女子 FJ 級デュエットの部 第 1 位
- 榛原高校定時制卓球部 東海高等学校定時制通信制体育大会 卓球競技 女子団体 優勝
- 将軍女子 第 3 回インディアカワールドカップ タルトゥ大会 一般女子 第 5 位
- 将軍シニア混合 第 6 回全日本インディアカーナメント 第 2 位
- 茶かりき牧之原 全国 BT ラリー戦ベスト 20 準優勝



まきスポで気軽にスポーツを楽しもう！

まきのはら総合スポーツクラブ 通称『まきスポ』はみんなでスポーツを楽しむクラブです。 いろんなスポーツにチャレンジしよう！

☆こんなスポーツをやっています。

- ①エンジョイ・スポーツ→卓球、ファミリーバドミントン、バドミントンなどを体育館で行います。
- ②イベント→ハイキング、カヤック体験などを楽しむことができます。

☆活動日時・場所

エンジョイ・スポーツ：B & G 体育館（隔週月曜日）、静波体育館（第三日曜日・他一日）
ファミリーバドミントン：3ヶ月毎に相良・片浜・勝間田小学校体育館（毎週土曜日）
活動時間 19:00～21:00(エンジョイ・スポーツ) 19:30～21:30(ファミリーバドミントン)

☆入会資格

原則として、市内にお住まいの方、お勤めの方、市内のスポーツチームに所属している市外の方

☆平成 23 年度年会費

有効期限：平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

個人会員・大人 1 名 3,000 円

・子供(高校生以下) 1 名 2,000 円

家族会員・6,000 円(会費の上限金額)

- ◇お得例①大人 1 名+子供 3 名⇒9,000 円が、家族会員で全部で 6,000 円！
- ◇お得例②大人 2 名+子供 2 名⇒10,000 円が、家族会員で全部で 6,000 円！

※保険は毎回 1 日傷害保険に加入します。

※詳しくは、まきスポ事務局にお問い合わせください。

☎52-4600 (B & G 海洋センター)

新規会員募集！



お得な価格！



新しいひまわり号、巡回しています！

市制施行 5 周年記念事業として、宝くじ協会の助成を受けて購入した新しい移動図書館ひまわり号が、2 月 8 日から市内を巡回しています。黄色、青色、緑色をベースに、相良高校美術部がデザインした「ひまわり」で彩られた新「ひまわり号」は、利用者からも「明るくなった」、「かわいい」と好評です。また、図書管理システムによる貸出返却処理も、今までよりスムーズになり利用者に喜ばれています。

巡回開始に先駆け、1 月 3 0 日には披露式が行われました。披露式では、利用者を代表し、地頭方小学校の植田真野さんが「ひまわり号は、図書館に行けない遠くの人やお年寄り、私たち小学校に本を運んでくれる。毎月、ひまわり号が来るのがとても楽しみです。」と話してくれました。

新「ひまわり号」は、小学校 1 0 校を含む市内 5 3 ステーションを毎月 1 回巡回し、市民の皆さんに本に親しむ機会を提供していきます。



【植田真野さん】

スクールチャレンジャー

～特色ある校外活動のススメ～
片浜小学校 保護者・地域と連携を深める「浜っ子チャレンジスクール」

片浜小学校の通学合宿「浜っ子チャレンジスクール」の目的は、地域全体で片浜の子を育てる気運を高めることです。

10 月 28 日（木）から 30 日（土）の 2 泊 3 日の日程で、片浜区防災センターで行われました。今年の活動の目玉は「もらい湯」です。地域の方から協力者を募り、2 日間実施しました。



【夜の校舎はスリルいっぱい】

朝食後、午前中の活動を打ち切りましたが、翌週の月曜日の放課後に「ウサギ餅作り」を行いました。できたてのお餅を、実行委員が分担して、もらい湯でお世話になった方に届けました。

もらい湯は、児童たちにも地域の方からも大変好評でした。初対面の方と話をし、時間を共有することで心の交流が深まりました。

児童と地域と P T A の深いかかわりができた取り組みでした。

最後に児童たちのもらい湯の感想を紹介します。「温泉とは違って、もらい湯の家の人たちと仲良くできるところがいいなと思いました。」「ぼくは 6 年生なので来年は参加できませんが、他の人はまたもらい湯かもしれないからうらやましいなと思いました。」



【極意を伝授していただきました】

平成23年度の教育施策の重点を紹介します



学校教育の分野では、

「高い「こころざし」を持った、心豊かでたくましい牧之原の子どもの育成を目指す」を基本方針に、不登校児童・生徒や障害のある児童・生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じた「特別支援教育」の一層の充実を特に図ります。また、外国語指導助手による外国語活動の一層の充実を図ることを通して、国際理解を深めてまいります。

社会教育の分野では、

「豊かでゆとりに満ちた生涯学習社会の実現に向け、生涯にわたり主体的に学び続け、活力あふれる人づくり、地域社会づくりを目指す」を基本方針に、生涯学習講座「田沼塾」「はりはら塾」の推進や「子どもまきのはら塾」を開講します。また、子どもの登下校を見守る「軒先運動」の推進を図ってまいります。

(教育総務課)

平成22年度教育行政の自己点検・評価を行いました

牧之原市教育委員会では、毎年、教育行政の事務管理及び執行状況について自己点検及び評価を行っています。詳しくは市ホームページをご覧ください。

今後も、牧之原市総合計画に掲げた将来都市像の実現に向け、高いこころざしを持った、心豊かでたくましい子どもの育成、生涯にわたり主体的に学び続け、活力あふれる人づくり、地域社会づくりを目標として、それぞれの施策を進めてまいります。

(教育総務課)

牧之原市適応指導教室『フルール』～自分自身の花を咲かせよう～

フルールとは、フランス語で「花」を意味する言葉です。

様々な理由で自分に自信がなくなり、支援を必要とする子どもが本来の自分を取り戻し、自分自身の花を咲かせるために、支援をする場がこの教室です。

★どんなことをするの？

相談員やカウンセラーと学習活動・体験活動・交流活動・相談活動など、さまざまな活動を行っています。活動の中で子どもたちは、心の安らぎを得たり、新しい自分に気づいたり、友だちとつながったりして、本来の自分を取り戻していきます。また、不登校に関わる悩み等の軽減・解消に向けて児童生徒及び保護者への教育相談を行っています。

★どこにあるの？時間は？

静波 447 番地 1 牧之原市役所榛原庁舎西館 2 F (榛原庁舎横・静波体育館隣)

<日・時間>月～金曜日 9:00～15:00 (相談は 17:00 まで)

問合せ TEL23-0093



(学校教育課)



文化財の紹介 －勝間田公園のミヤマツツジ (県指定 天然記念物)－

勝間田地区の三栗山の山頂付近に群生しているミヤマツツジは、九州から中部地方まで分布していますが、三栗山が分布の東限に位置します。

標高 80m～90mの場所に集中して群生し、高さ 2.5m～3mほどのツツジが約 1,000 本自生しています。群生地ほとんどが勝間田公園内にあるため、4 月中旬頃にはツツジが満開になり、紫に野山が染まります。ぜひご覧ください。

(文化振興課)





わが校・わが園じまん

市内の小・中学校、幼稚園・保育園の『じまん』を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



【 小集団での学び 】



【 意見をまとめる様子 】

御前崎中学校 【 共に高めあう授業づくり 】

本校では「よさを発揮し 共に高めあう授業」を求めて、生徒と教員が授業づくりに励んでいます。授業づくりを学校自慢として記述するのは少々面映ゆいのですが、授業で生徒の成長を育みたいのです。

私は『学校の命は授業における協同的な学び』だと信じています。

昨年、市の指定研究を受けて研究発表をしたときに、授業を参観していただいた大学の先生が、次のように評してくれました。

「御中の授業は、よい意味でとっても小学校ばいです。しかし小学校では

とても見られないスケールやエネルギーやスピード感を感じさせます。」

これを励ましとして、ペア、トリオ、カルテット、そして班グループの学習に取り込んでいます。しかし、協同的な学びは安易に小集団学習を行うことではありません。生徒が確かな思い・考えを有している必要があります。

一句思い出しました。

『分け入りし霞の奥も霞かな』

追究してもその奥は霞かもしれませんが、近い将来、御中の自慢は『日々の授業です』と言えるように一層の研鑽を積んでいきます。

相良幼稚園 【 年長児から年中児へ毎年引き継がれている遊び 】

相良幼稚園では、年長さんから年中さんに引き継がれている遊びがいくつかあります。その中で「お化け屋敷」「お祭りの出店」「独楽回し」を紹介します。

「お化け屋敷」「お祭りの出店」は年長さんが全員で計画、役割分担をして、年中・年少さん、保護者の皆さんを招待して行われています。二つの活動の工夫されたお化けや品物に、保護者の皆さんは子どもの成長を感じ、感動されています。子ども達にとっても、それは大きな自信となっています。

「独楽回し」は、年長さんがサンタさんからプレゼントされる紐独楽をこ

つこつと練習し、全員が回せるようになると年中・年少さんに披露するものです。それを見た年中・年少さんは「年長さんすごい」「大きくなったら出来るのかな」と目標にするようになります。年中さんはその後、独楽回しを年長さんから教わります。年長さんは自分が苦労して回せるようになり、回し方のコツをわかっているので、年中さんにとっても上手に教えています。

こうした活動が、年長さんに自信と風格を与え、年中・年少さんに憧れと期待を与え、とても良い縦のつながりを築く場となっています。



↑ 【出店の様子】
← 【独楽回しを教える年長さん】

《編集後記》

東北地方太平洋地震(東日本大震災)に被災をされた方々へ心からお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を祈念いたします。ここ牧之原市の小中学校では、例年通り子ども達が卒業式、入学式を迎えることができました。このことを当たり前と思わず、いつもより深い感謝の心で、子ども達の門出を喜びたいと思います。

★ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください

教育委員会だより編集委員会
電話：53-2642 FAX：53-2657

〒421-0592 牧之原市相良 275
E-mail：kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp